

ひろしまの緑

発行 公益社団法人広島県みどり推進機構

令和6年度 広島県緑化ポスター原画コンクール 特選〔広島県知事賞〕



目次

年頭のあいさつ	2	イベント掲示板	5
令和6年度 緑の募金・高額寄付者等の皆様	3	みどりづくり活動支援事業報告	6
学校緑化推進事業	4	熊四緑の少年団	7
林業・環境緑化写真コンクール作品募集	5	令和6年度 第2回理事会を開催	8
		令和7年度 『みどりづくり活動支援事業』募集	8

2025
Vol.103
Jan.



みどり推進機構ホームページ
URL <https://www.green-hiroshima.or.jp>





年頭のあいさつ



呉市長 新原 芳明



あけましておめでとございませう。皆様におかれましては、清々しい新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

呉市は、広島県の南西部に位置し、瀬戸内海に面する陸地部と、倉橋島や安芸灘諸島などの島しょ部で構成される気候温和で自然環境に恵まれた都市です。

総面積は、352.83km²、そのうち森林面積は196.21km²で、総面積の約56%を占めており、平たん地が少なく、野呂山、灰ヶ峰、七国見山、火山を始め、標高300mから800m前後の山が連なり、地域が分断された地形となっています。一方、こうした地形から山と海の風光明媚な自然に恵まれ、瀬戸内の美しい島々や多彩な

峡谷美の景観は、市民の憩いとレクリエーションの場として、また、貴重な観光資源としても親しまれています。

人工林の面積は、森林面積の約7%の14.35km²と少なく、森林所有者の高齢化などにより手入れ不足の森林が増えている状況ですが、森林には温室効果ガス吸収効果による地球温暖化防止や、水源涵養・災害防止などの多面的な公益的機能を有しており、森林所有者には適切な管理が求められています。

本市におきましても、平成19年度より導入されました「ひろしまの森づくり県民税」を活用し、里山林の保全活動に関わる市民ボランティアの取組の支援など継続して取り組んでおります。

さらに、「森林環境譲与税」を活用し、間伐や除伐といった森林整備や学校のロッカー・書棚について県産材を使った木製品の設置を行っています。

また、昨年6月2日には、ひろしま「山の日」県民の集いが、野呂山で行われました。体験イベントとして、森林内の下草刈り、ヒノキの丸太切り、森のネイチャーゲーム、ハイキングと、山や自然に親しむ機会となりました。そして、緑の募金の助成金を活用し、自治会や小学校など毎年20を超える団体が歩道や花壇の緑化に取り組み、地域の緑化意識の高揚に寄与しています。

今後も引き続き、市役所と市民が連携して、豊かな山の育成につながる取組を行ってまいりたいと考えております。

す。本年も変わらぬご支援とご協力をよろしく願っています。

結びに、令和7年が皆様にとって幸多き一年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。





令和6年度「緑の募金」

高額寄付者等の皆様

公益社団法人 広島県みどり推進機構

令和6年度に公益社団法人広島県みどり推進機構へ、高額のご寄付をいただいた企業等をご紹介します。

「東京海上日動株」

東京海上日動火災保険㈱広島支店では、「Paperless for Green Project」お客様「みどり」も、デジタルでお守りする」と銘打ってペーパーレスを通じたお客様への付加価値提供、利便性・快適性の向上とともに、広島島の環境保護に貢献するため取組まれております。

この取組結果として環境保護に貢献したいと本機構に寄付をしていただきました。



(左から) 東京海上日動 青砥マネージャー、檜山主任、高浦支店長、機構 大濱副理事長、小谷森林保全課長

「広島県ゴルフクラブ連盟」

平成元年から平成9年まで「緑と水の森林ファンド」を積み立てるため、ゴルフアターの皆さんにご協力いただきました。

その後も一人・一プレーでゴルフアター募金を続けていただいております、毎年継続して多額のご寄付をいただいております。

21年目となる今年も本機構に寄付をしていただきました。

「㈱イズミ」広島市

㈱イズミは、広島県が平成21年から地球温暖化防止を目的に実施している「マイバッグ運動」に積極的に参加されています。

協力をいたこの運動中に販売した有料レジ袋収益金の一部を、環境緑化の推進などに役立てていただきたいと、今年も本機構に寄付をしていただきました。

「ユニ・チャーム㈱」東京都

「㈱ツルハグルードラッグ&ファーマシー西日本」広島市

(ユニ・チャーム㈱)及び(㈱ツルハグルードラッグ&ファーマシー西日本)は、6月の世界環境デーに合わせ、共同でキャンペーンを実施されています。

この運動中に販売した商品の収益金の一部を、環境緑化の推進などに役立てていただきたいと、本機構に寄付をしていただきました。

「ひろしま農業協同組合」

JAひろしまは、「持続可能な農業の実現」を目指し、「豊かで暮らしやすい地域社会の実現」等を目指します。を経営理念として、広島県の農業振興と地域の活性化に取組まれております。

その中で、「食農・地域の応援隊」定額貯金キャンペーンを展開され、その一環として、地域を応援するため地域の団体へ寄付をされており、今年、本機構に寄付をしていただきました。

「MHIパワーエンジニアリング㈱」

MHIパワーエンジニアリング㈱は、三菱重工グループのエンジニアリング会社で、関わる製品は、発電プラント、鉄構製品、環境プラント、船用機器、ITシステムに至るなど多岐にわたっております。

「緑の募金」春期キャンペーン(3月〜5月)に合わせて、社内エコポイント制度で蓄積されたポイントから広島・呉地区活動に沿って、本機構に寄付していただきました。

「ジュンセイ㈱」

ジュンセイ㈱は、呉市郷原町で印刷業を営まれています。仕事柄多量の紙を消費されることから、地球温暖化防止に貢献したいとの思いで、今年も、紙の材料である樹木と森林を育成するための事業を実施・支援している本機構に寄付をしていただきました。

「アシード㈱」

アシード㈱は、緑の募金付きの自販機を設置し、「緑の募金」へ寄付する環境保全活動を進めておられ、今年も、本機構に寄付をしていただきました。

その他、今年も

「ロータス広島㈱」

「NTT西日本広島支店グループ」から、本機構に寄付をしていただきました。

さらに、昨年に続き、今年も

「㈱広島東洋カーブ」

「㈱サンフレッチェ広島」

から、ロゴやペットマークの無償使用について協力して頂き、コラボした募金資材を製作することができました。



「カーブ」・「サンフレッチェ広島」
コラボピンバッジ

皆様、ありがとうございました。

昨年は多くの皆様方に「緑の募金」にご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。今年も、昨年と同様に「緑の募金」を宜しくお願いいたします。

学園緑化推進事業

広島県立広島皆実高等学校の緑化活動

●学校の概要

「勤勉 強行 責任 自由」を校訓とし「文武両道」を不動の校是とする普通科・衛生看護科・体育科の3学科を擁する高等学校である。多様性(ダイバーシティ)の実現に向けて「チームMINAMI」を合言葉に3学科が互いに高め合い、切磋琢磨している。生徒は活発で活気があり、勉学だけでなく、スポーツや文化活動に意欲的に取り組んでいる。



●事業に取り組んだ理由

国道沿いにあり、文教地区であるが、学校敷地周辺には緑が少なく、校内の敷地は適切に管理されていたが、入口花壇は管理が難しい状況にあった。環

境美化活動を通して、生徒たち自身が学習環境をよりよいものにしていくとともに、自然に親しみ緑を大切にして、サステナブルな生き方をしていくことを体感する機会を提供するため。

●取り組み内容

事業採択決定後、広島南区役所と連携をとり、ガーデニング工房花の散歩道主宰である橋本真知子先生を紹介していた。橋本先生の御指導の下、緑化計画をスタートさせ

た。花にとつて過酷な猛暑を避け、秋の美化週間に清美委員会と園芸部で協力して、花壇を整備し、その後ガザニア、チューリップ、ピオラを植えた。当日は花壇づくり



橋本真知子先生



講座も開いていただき、花植えの前の土壌改良から参加者全員で取り組んだ。当日の作業量を心配していたが、本校OBが耕運機で耕す役をボランティアで買って出てくださり、作業は一気に進捗した。日当たりがよい場所なので、まずはしっかり水分を確保できるように設備投資にお金をかけた。校舎設計図を確認して、自動散水ホース付ける等、灌漑のしくみをつくった。

緑化計画には、清美委員会生徒、園芸部、有志生徒、約70人が携わり、保護者10人、地域住民5人、本校職員5人が関わった。

その後も、地域のほうが花の成育状況を気にかけてくださり、通りがかりの方から声をかけていただくことも増えた。美術部も看板づくりに協力してくれ、みんなで力を合わせてつくった手作り花壇が出来上がった。



●まとめ

春には色とりどりのチューリップやピオラが咲き、卒業生や入学生の心を和ませた。ペンタス・ユーフォルビア・ダイヤモンドフロスト等が植えられた現在も園芸部が日々手入れを継続している。国道沿いの過酷な条件の中でも可憐に咲く花々は勉学に部活動にと忙しい生徒の頑張りをそっと応援してくれている応援団のようである。学校の方だけでは、この花壇づくりは成り立たなかった。「緑の募金事業」によるご支援、花壇づくりを応援してくださったチームMINAMIの全ての方にこの場をお借りして感謝申し上げます。



令和
6年度

森林・林業・環境緑化写真コンクール作品募集

森林・林業・環境緑化をテーマにした写真を募集します。

募集期間

令和6年9月1日▶令和7年1月31日

お問い合わせ・送り先

広島県林業改良普及協会

事務局:糸崎(いとさき)

〒730-8511 広島市中区基町10-52 広島県庁林業課内

TEL:082-513-4840 FAX:082-223-3583

Eメール:hirorin@green-hiroshima.or.jp

■題材

①県民参加による森林整備やその普及・啓発活動、その成果を示す風景。②県内の林業作業風景(植樹を含む)、林相、山村の民家、森、奇岩、山村の祭り、木造建築、木材の加工、林産物生産などを対象としたもの。③学校・工場・広場などの環境緑化のための植樹作業風景、森林レクリエーション施設などの利用風景などを対象としたもの。写真は、横位置・縦位置のいずれも可、応募点数に制限はありませんが、未発表の作品に限ります。

■応募資格

広島県内にお住まいの方ならどなたでも応募できます。ただし、職業写真家はご遠慮ください。

■応募方法

次のいずれかで応募ください。
・郵送による応募:写真サイズは2L判(12.7cm×17.8cm)

・Eメールによる応募:デジタルファイル(1~5メガバイト程度)
・共通事項:「森林・林業・環境緑化写真コンクール応募票」へ必要事項を記入し、写真とともにお送りください。

■賞および賞品

特選(賞金2万円)2点/入選(賞金5千円)10点/佳作(賞金3千円)若干

■入賞発表

結果は、令和7年4月1日 広島県林業改良普及協会発行の「ひろしまの林業」及びホームページ上にて発表します。

■その他

特選・入選作品は、令和7年度「ひろしまの林業」の表紙に使用します。その他の作品も、県民の緑化意識の啓発、高揚を図るため、林業・環境緑化関係の広報資料として使用します。応募作品の著作権は、広島県林業改良普及協会に帰属するため、応募作品は返却されません。郵送による応募の入賞者には、ネガ・ポジまたはデジタルデータを提出していただきます。

主催/(公社)広島県みどり推進機構・(一社)広島県森林協会・広島県森林組合連合会・広島県林業改良普及協会

イベント掲示板(1月~3月)

行事名	実施日	料金	申込(期限)	内容
広島県緑化センター	TEL 082-899-2811	広島市東区福田町	https://ryokka-c.jp/	
なめこ植菌教室	1月25日(土)	材料費700円	必要12/1~(定員になり次第終了)	家庭栽培についての講義の後、植菌の実習を行います。(10:00~12:00) 先着20組
ジャンボ椎茸植菌教室No.1 ~家庭栽培に挑戦しよう~	2月19日(水)	材料費800円	必要1/4~(定員になり次第終了)	家庭栽培についての講義後、植菌の実習を行います。(10:00~12:00) 先着20組
ジャンボ椎茸植菌教室No.2 ~家庭栽培に挑戦しよう~	2月22日(土)	材料費800円	必要1/4~(定員になり次第終了)	家庭栽培についての講義後、植菌の実習を行います。(10:00~12:00) 先着20組
早春のバードウォッチング	3月1日(土)	無料	なし	散策路を歩きながら、野鳥を観察します。(10:00~12:00) 自由参加 双眼鏡持参
針葉樹の見分け方	3月8日(土)	無料	なし	室内にて、実物の枝葉を用いて、特徴や見分け方を学びます。(10:00~12:00) 自由参加 ※ルーペ持参
早春のコケ観察会	3月12日(水)	無料	なし	室内で基本を学び、屋外にてコケ植物を観察します。(10:00~12:00) 自由参加 ※ルーペ持参
早春の自然探勝	3月14日(金)	無料	なし	樹木の冬芽を観察しよう。(10:00~12:00) 自由参加 ※ルーペ持参
広島県内のスミシの見分け方	3月14日(金)	無料	なし	広島県内のスミシの種類とその違いを知ろう。(13:30~15:00) 自由参加 ※ルーペ持参
3月の自然探勝	3月28日(金)	無料	なし	散策路を歩きながら、植物を観察します。
《展示会》 第8回ひろしま遊学の森 「四季の移ろい」写真コンテスト展 会場:レストハウス	1/4(土)~1/25(土)	無料	なし	第8回ひろしま遊学の森「四季の移ろい」写真コンテスト応募作品の展示になります。

みどりづくり活動支援事業報告

「福山市近郊の山の整備を続けております」

福山山岳会 里山部長 佐藤 康

私が先輩から登山道整備の担当を受け継いで4年になります。ちょうどコロナウイルスの流行と重なり、各種イベントの中止の波にもさらわれて参加者はなかなか集まらずという回もありました。暑い季節にはマスクをつけたままの屋外での作業は過酷というしありません。またせっかく計画しても雨天だと中止せざるをえず、代替日の設定もこれまた大変で整備計画もなかなか予定通りという訳にもいきません。とはいえメンバーを中心に市民の皆様さんにも参加をお願いしながら、福山市近郊の山々の整備を続けておりま

す。対象は福山市民の憩いの山の蔵王山をはじめ、沼南アルプス(彦山・葛城山・熊ヶ峰・白木山・阿伏兎山)、高増山などの福山市近郊の山々です。通常の整備では雑草の草刈りに、倒木や枝木のカットや撤去、ゴミの回収を実施します。また登山道を安心して歩けるように導標の設置や階段の造作に沢を渡る架橋部の整備など、先輩方が設置した工作物の修繕も続けています。整備箇所の選定もまた一苦労です。計画立案の時点で要整備の山をピックアップしておかねばなりません。整備内容によっては車両や草刈り機

チェーンソーの確保が必要になりますし、実施日の前にとりあえず駐車箇所草刈りが必須という山域もあります。参加者のための駐車場所の確保や集めたゴミを回収してもらう段取りが必要な回もあります。せっかく集まってもらっても他の団体が整備を終えていたなんてないように、地域の方とのコミュニケーションも必要です。

整備では草刈り機やチェーンソー、のこぎり、草刈り鎌、刈込はさみ、剪定はさみといった刃物を使わざるをえません。時に作業時の事故のニュースを聞きますので、作業の前には十分に注意していただくようお願いいたします。今まではおかげさまで事故なく作業が完了していますが、事故は想定外で起きるものと思っていて、作業時の他の人

との空間の確保など、今後も口ずっぱく注意していきたいと思っております。これからも市民や県民の方が安心して福山近郊の山を歩いていただけるように努力していきたいと思っております。



緑の少年団活動状況

熊野第四小学校みどりの少年団

《安芸郡熊野町》

熊四小みどりの少年団は平成8年に設立され、28年目を迎えました。

本校は、全校児童が加入し、団員数は277人です。私たちの住む熊野町は、広島県の西部に位置し、四方を500メートル級の山々に囲まれた高原盆地です。豊かな自然に恵まれており、高原の清涼な空気により良い環境の中で過ごすことができます。子供たちも、植物等の自然が大好きで、自然とともに様々な緑化活動に取り組んでいます。

【学習活動】

熊四小 緑いっぱい運動

全団員が年間を通して花や野菜等を育てる活動を行っています。低・中学年は、一人一鉢で、季節の花や野菜を栽培しています。大きく生長していくように、毎朝水をやり、「もっと大きくなってね。」「お花をいっぱい咲かせてね。」と、声をかけながら大切に育てています。高学年で構成されている栽培委員会は、来校した人が明るい気持ちになれるように、パンジー等

の草花を植栽し、植え替えや水やりなどの手入れを行っています。

正門近くに植栽したプランターを置くことで、多くの方の目に触れるようになっています。卒業式や入学式等の行事にはそれらを飾り、式に彩を与えています。



学習活動【1年生による花いっぱい活動】



学習活動【委員会による花いっぱい活動】

熊四小 地域の絆を深める

3年生は、地域の方にご指導いただき、熊野町の名産である黒豆を栽培し

ました。初めて植える黒豆を「どうやったら大きく育てることができるのだろう。」と苦労しながら育てていきましたが、思うようには育ちませんでした。そこで、地域の方に大きく元気に育つ方法を教えていただきました。教えていただいたことを大事に守りながら世話を続けました。その甲斐あって、秋には収穫を迎え、たくさん

さんの黒豆を収穫することができました。栽培を通して、地域の方の偉大さを感じ、地域から学ぶ良さを実感することができました。



学習活動【3年生 黒豆栽培】



学習活動【生け花教室】

その他にも、地域の方には生け花教室を開いていただき、花を通して日本文化に親しむことができました。

【奉仕活動】

熊四小 クリーン大作戦

年に数回、全校児童や縦割り班で広場や運動場の草抜き等のクリーン活動を行っています。本校は、敷地面積が大変広いため、草抜きはとても大切な活動です。また、年に1回は親子で校内の草抜きもしています。秋になると児童たちが、学校のシンボルツリーの森から落ちてくる落ち葉をボランティアで清掃しています。学校の森は、学校の象徴として大切にされており、児童はこの活動を通じて自然と地域への愛着を深めています。このように、学校全体

でクリーン活動に取り組むことで、五感で四季を感じ、季節と自分の生活とのつながりをもてる児童に育ってきています。



奉仕活動【クリーン大作戦】

令和7年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール
入賞者が決定

広島県の受賞者

【準特選】 林野庁長官賞

高校の部

佐竹 南穂 如水館高等学校3年

令和6年度公益社団法人広島県みどり推進機構
第2回理事会を開催

公益社団法人広島県みどり推進機構は、令和6年12月に理事会を開催しました。

【議案】

- 1 副理事長の選出について
- 2 令和7年度事業計画及び収支予算の決定について

【報告事項】
代表理事等の職務の執行状況について

提出議案
について原
案どおり承
認・決定さ
れました。



令和7年度
『みどりづくり活動支援事業』募集
応募期間：2月1日～3月31日まで

緑の募金を原資とした公募事業を、今年も、次の内容で実施します。

森林整備・環境緑化・木材利用拡大・普及啓発に関する事業の実施を希望される地域の団体・ボランティアアグルーの皆様の応募をお待ちしています。詳細、申請様式は、広島県みどり推進機構のHPをご覧ください。

1 募集対象事業

- ① 森林整備事業
- ② 環境緑化事業
- ③ 木材利用拡大事業
- ④ 普及啓発事業

2 募集期間

令和7年2月1日から3月31日まで

3 助成金の限度額

1事業につき最大20万円
なお植樹活動が主体の事業は、苗木等の材料費を最大10万円まで増額

4 事業採択

令和7年5月下旬の予定

5 問合せ先

公益社団法人広島県みどり推進機構
(TEL 082・513・4840)



賛助会員の募集

広島県みどり推進機構では、賛助会員を募集しています。趣旨に賛同される皆様は、広島県みどり推進機構までご連絡ください。

1 賛助会員の要件

機構の趣旨に賛同される個人、団体、企業

2 年会費

個人 1□ 2,000円
団体等 1□ 10,000円
何□でも可

3 特典

- 年4回の会報「ひろしまの緑」によるみどりづくりの情報提供
- みどりづくりのイベント等の案内

会費は、募金と同様に所得税の寄付金控除の対象となります。

4 振込先

- 広島銀行 県庁支店
- 普通 1002201

● 郵便振替口座

01340012128817

※口座名義はいずれも

公益社団法人広島県みどり推進機構

5 入会、問合せ先

公益社団法人広島県みどり推進機構
(TEL 082・513・4840)

公益社団法人 広島県みどり推進機構

〒730-8511 広島市中区基町10-52 県庁森林保全課内 TEL082-513-4840
E-mail info@green-hiroshima.or.jp
ホームページ https://www.green-hiroshima.or.jp

支 部 事 務 局

広島市	広島市役所農林整備課	082-504-2249	安芸高田市	安芸高田市役所農林水産課	0826-47-4022
呉市	呉市役所農林水産課	0823-25-3317	江田島市	江田島市役所農林水産課	0823-43-1642
竹原市	竹原市役所建設課	0846-22-7746	府中町	府中町役場環境課	082-286-3244
三原市	三原市役所農林水産課	0848-67-6081	海田町	海田町役場都市整備課	082-823-9634
尾道市	尾道市役所農林水産課	0848-38-9212	熊野町	熊野町役場農林緑地課	082-820-5638
福山市	福山市役所農林水産課	084-928-1031	坂町	坂町役場産業建設課	082-820-1512
府中市	府中市役所農林課	0847-43-7132	安芸太田市	安芸太田町役場産業観光課	0826-26-1973
三次市	三次市役所農政課	0824-62-6163	北広島町	北広島町役場農林課	050-5812-1857
庄原市	庄原市役所林業振興課	0824-73-1124	大崎上島町	大崎上島町役場建設課	0846-65-3124
大竹市	大竹市役所産業振興課	0827-59-2130	世羅町	世羅町役場産業振興課	0847-22-5304
東広島市	東広島市役所農林水産課	082-420-0939	神石高原町	神石高原町役場産業課	0847-89-3337
廿日市市	廿日市役所農林水産課	0829-30-9148			



緑の募金にご協力をお願いします

募金は次の口座でお受けしています。

● 広島銀行県庁支店
普通 1002210

● 郵便振替口座
01340-2-28817

口座名義はいずれも

公益社団法人広島県みどり推進機構

